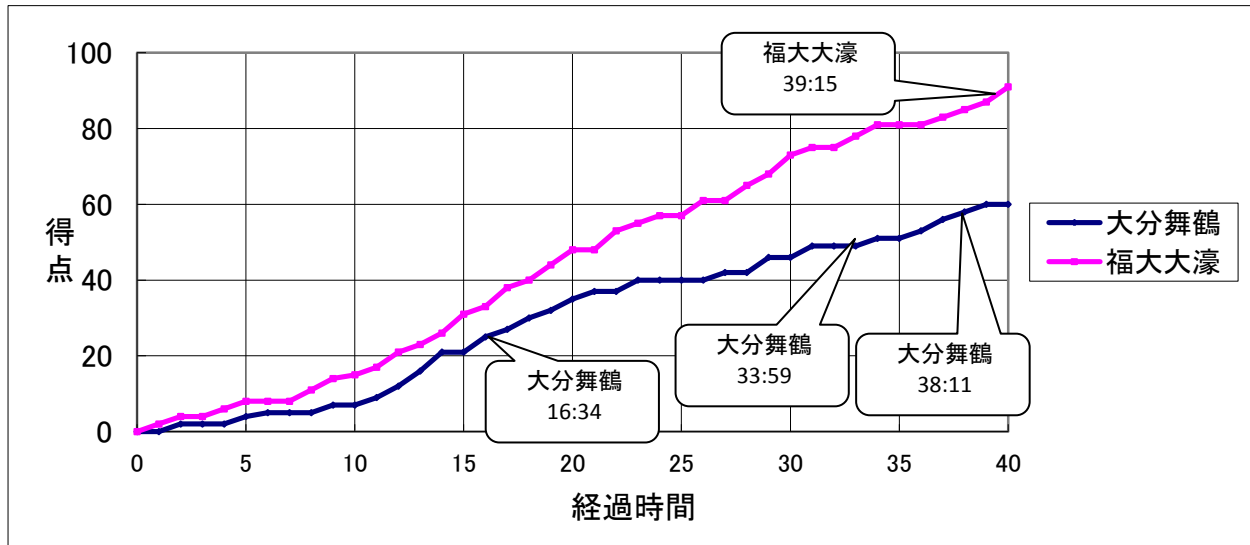


大会名	平成28年度 第69回全九州高等学校バスケットボール競技大会	A6	16:30	男子2回戦															
	2016年(平成28年)6月25日(土)	大分舞鶴 60	<table border="1"> <tr><td>7</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>28</td><td>-</td><td>33</td></tr> <tr><td>11</td><td>-</td><td>25</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	7	-	15	28	-	33	11	-	25	14	-	18	-	-	-	91 福大大濠
	7	-	15																
28	-	33																	
11	-	25																	
14	-	18																	
-	-	-																	
会場	佐賀県総合体育館	大分1位 ●		○ 福岡2位															

主審 紀伊 孝哉

副審 福田 圭吾



大分舞鶴

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
◎ 4	赤嶺 充希	0	0	0	0	5
○ 5	吉良 知将	13	3	1	2	4
○ 6	蠣原 弘太郎	4	0	2	0	3
7	泥谷 椋平	10	2	2	0	2
8	久原 大弥	3	1	0	0	0
○ 9	長谷川 聖	4	0	2	0	1
10	小野 駿斗	0	0	0	0	0
11	木下 碧人	22	0	10	2	0
12	川井 健太	4	0	1	2	2
13	鈴木 裕登	0	0	0	0	0
○ 14	山崎 蒔志	0	0	0	0	4
15	永松 知也	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	齋藤 哲也					
	合計	60	6	18	6	

福大大濠

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	藤井 宏治	0	0	0	0	0
5	川島 聖那	4	0	1	2	0
6	立野 友也	10	2	1	2	0
7	桐山 慶太	11	0	4	3	1
○ 8	青木 亮	11	0	4	3	1
9	中崎 圭斗	10	0	5	0	0
10	永野 聖汰	5	1	1	0	0
○ 11	上塚 亮河	3	1	0	0	2
12	土家 大輝	5	1	1	0	2
○ 13	渡嘉敷 直輝	9	0	4	1	0
◎ 14	児玉 修	9	1	2	2	1
○ 15	井上 宗一郎	14	0	6	2	0
16						
17						
18						
コーチ	片峯 聡太					
	合計	91	6	29	15	

○はスターター(◎はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

危なげなく初戦を制した大分舞鶴対福大大濠の男子2回戦は高さに勝る福大大濠が終始インサイドを支配し、準決勝進出を果たした。第1P、大分舞鶴は3-2ゾーンディフェンス、福大大濠はハーフコートマンツーマンでスタート。序盤、福大大濠は#8青木のインサイドを中心に攻め加点していく。一方、大分舞鶴は#6蠣原のファーストブレイク等で対抗する。その後、お互いシュートを思うように決めることが出来ない時間帯が続くが、福大大濠はディフェンスプレッシャーから、確実にインサイドで加点して行き7対15で終了。第2P、大分舞鶴は#8久原の3Pを皮切りに#11木下のドライブ等で点差を縮める。一方、福大大濠は速いパス回しから#12土家、#13渡嘉敷らが3Pを沈めリズムを掴むと、インサイドでも強さを見せ35対48福大大濠リードで前半終了。第3P、福大大濠は#8青木、#9中崎、#15井上が完全にインサイドを支配し、リバウンドを量産すると着実に加点して行き点差を広げる。大分舞鶴は積極的にアウトサイドシュートを狙うもの思うように決められず46対73で終了。第4P、流れを変えたい大分舞鶴はオールコートプレスで果敢にボールを奪いに行くが、福大大濠は落ち着いてボールを運び、高さを活かした攻撃で加点していき60対92で福大大濠が勝利した。

記事者	堤 哲也 (所属) 佐賀県バスケットボール協会
-----	-------------------------